

人工知能技術コンソーシアム 2023 年度事業計画書



目次

1. 2023 年度の計画.....	2
2. ワーキンググループ（WG）	3
3. コンソーシアムの運営.....	4
4. 年間スケジュール（予定）	4
5. 収支予算.....	4

1. 2023 年度の計画

我が国が掲げる Society5.0、サイバーフィジカル社会の実現、デジタル変革(DX)の推進を目指し、人工知能技術や IoT・ビッグデータ活用、デジタル変革(DX)による課題解決に関心のある複数の企業や地域の関係機関を集め、全体会議やテーマごとの集会においてビッグデータを活用したデジタル変革(DX)推進プロジェクトや人工知能技術の活用事例(ユースケース)、動向の共有、意見交換、コンテストの開催及び協働プロジェクトの構想や実証結果の報告を行う。また同じ関心を持つメンバーから構成されるワーキンググループ(WG)を設け、各 WG 内で実証プロジェクトの立案、試行、協業を進めるなど、共創的価値創出を促進する。

2023 年度は、各 WG や地域拠点となるグループの相互作用を促進するためのオンライン情報基盤を活用するとともに、リアルでの活動についても再開を促す。会員組織間での共創的価値創出をより加速させるとともに、AI 技術やビッグデータを用いたデジタル変革(DX)プロジェクトを定着させるための運用技術や価値創出、価値共創のプラットフォーム化を目指す。具体的には、多様な業種により構成された WG の中で、共通の課題を共有したメンバーが集まり、協働プロジェクトチームとして活動し、実データ収集と技術シーズとのベストマッチング、価値あるユースケースとサービスやビジネスモデルの計画、ワークショップやコンテストを通じて具体的なアクションプランを構想、実施し、さらに振り返りとリフレーム。このアクションプランを実施した実証結果を得られたデータを分析、モデル化して効果を評価して報告し、他の WG や地域のグループが参照できるような「リファレンスモデル」を集積することで、AI 技術の社会実装、デジタル変革(DX)推進モデルの水平展開、加速度的普及を目指す。このようにして得られたコンソーシアムの活動成果は地域支部 WG におけるセミナーや、公開シンポジウム、Web ページなどを通じて外部発信し、人工知能技術の社会実装、Society5.0 の実現、社会や産業のデジタル変革推進に向けた取り組みを促進していく。

2.ワーキンググループ（WG）

各 WG は会員から構成メンバーを選出し、活動計画、予算案について運営委員の承認を得て活動を開始する。現在予定している WG は以下の通り。必要に応じて新たな WG を追加することもありうる。

2023 年度（22WG）

- ・ Human Life WG
- ・ データ・知識融合 WG
- ・ データプラットフォーム WG (AI ツール WG と合同開催)
- ・ ものづくり WG
- ・ AIリビングラボ WG
- ・ AIツール WG
- ・ データマイニング WG
- ・ ユースケース WG
- ・ 医療・ヘルスケア WG
- ・ 社会課題解決 WG
- ・ 深層学習 WG
- ・ サイバーフード WG (地域連携 WG と合同開催)
- ・ 観光 WG
- ・ 教育 WG
- ・ AI サービスシステム WG
- ・ Human Resource WG
- ・ バリューデザイン WG
- ・ 関西支部 WG
- ・ 東海支部 WG
- ・ 神戸支部 WG
- ・ 九州支部 WG
- ・ 地域連携 WG

3. コンソーシアムの運営

本コンソーシアムの運営委員会は以下から構成される。適宜追加されうる。

会長：本村陽一（産業技術総合研究所）

副会長：豊田俊文（産業技術総合研究所）、武井明則（PwC ビジネスアシュアランス）、松岡竜大（ライズ・コンサルティング・グループ）大江規之（みらいワークス）

運営委員：鶴川健太郎（セック）、黒田由加（三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング）、今西克也（住化分析センター）、田島史也（PwC ビジネスアシュアランス）、小林泰之（聖マリアンナ医科大学）、石橋麻希（聖マリアンナ医科大学）、鈴木剛（大阪教育大学）、安松健（大阪教育大学）、猪谷誠一（博報堂）、三浦慎平（博報堂）、岩本圭介（NTT データ数理システム）、湯浅麻紀子（NTT データ数理システム）、石田和宏（クリアタクト）、梅崎猛（セゾン情報システムズ）、杉山邦洋（ブイシंक）、上原将司（アシストネット）、高橋秀明（アシストネット）、村井浩一（システック井上）、井上貴夫（システック井上）、佐藤優介（慶応義塾大学）、穂積融（一般財団法人マルチメディア振興センター）、宮下修（ジェイ・フェニックス・リサーチ）、西田昌弘（大阪商工会議所）、倉骨彰紀（大阪商工会議所）、狩野恒一（コベルコ科研）、竹下竜介（神戸商工会議所）、兵頭拓朗（神戸商工会議所）、片山善寛（アシスト）、伊藤久司（東海ソフト）、大江規之（みらいワークス）、渡辺健司（応用技術）、田中雄策（リテール AI 研究会）、萩島功一（産業技術総合研究所）、山下和也（産業技術総合研究所）（順不同）

事務局：宮本亜希（産業技術総合研究所）陣内季子（産業技術総合研究所）

～2023年3月現在～

4. 年間スケジュール（予定）

全体定例会 ＊詳細は別途 HP の新着情報に掲載

- ・ 第 1 回～ 第 3 回全体定例会（開催日未定）
- ・ 総会、第 4 回全体定例会（3 月）

外部向けイベントの開催予定

- ・ WG 見本市
- ・ 各 WG 主催のオープンイベント

5. 収支予算

2023 年度予算は下記表の通り。

費目	金額	備考
----	----	----

収入		
会費	11,300,000 円	100,000 円×113 口
合計	11,300,000 円	
支出		
WG 活動費(加速費を含む)	2,988,600 円	内訳別表に記載
運営費(人件費、物品費、役務等)	8,311,400 円	
合計	11,300,000 円	

別表. WG 活動費

2023 年度 WG 予算計画	計画予算 合計	<内訳> 旅費・宿泊 費	<内訳> 会議・イベ ント費	<内訳> 研究・開発・ 実証費	<内訳> 備品・機材 購入費	<内訳> 計算機利用 料
1.Human Life	170 千円	34 千円		136 千円		
2.ものづくり	68 千円	68 千円				
3.社会課題解決	170 千円	34 千円		136 千円		
4.ユースケース	0 円					
5.医療・ヘルスケア	370.6 千円		68 千円	234.6 千円		68 千円
6.サイバーフード	0 円					
7.観光	102 千円					102 千円
8.教育	102 千円	102 千円				
9.データ・知識融合	102 千円	102 千円				
10.データプラットフォーム	0 円					
11.データマイニング	0 円					
12.AIツール	170 千円			170 千円		
13.AIリビングラボ	306 千円				306 千円	
14.深層学習	170 千円	34 千円				136 千円
15.関西支部	153 千円		153 千円			
16.九州支部	170 千円	170 千円				
17.東海支部	289 千円	51 千円	136 千円	102 千円		
18.神戸支部	136 千円		34 千円			102 千円
19.AI サービスシステム	0 円					
20.Human Resource	0 円					
21.バリューデザイン	340 千円	102 千円	170 千円	68 千円		
22. 地域連携	170 千円	170 千円				

